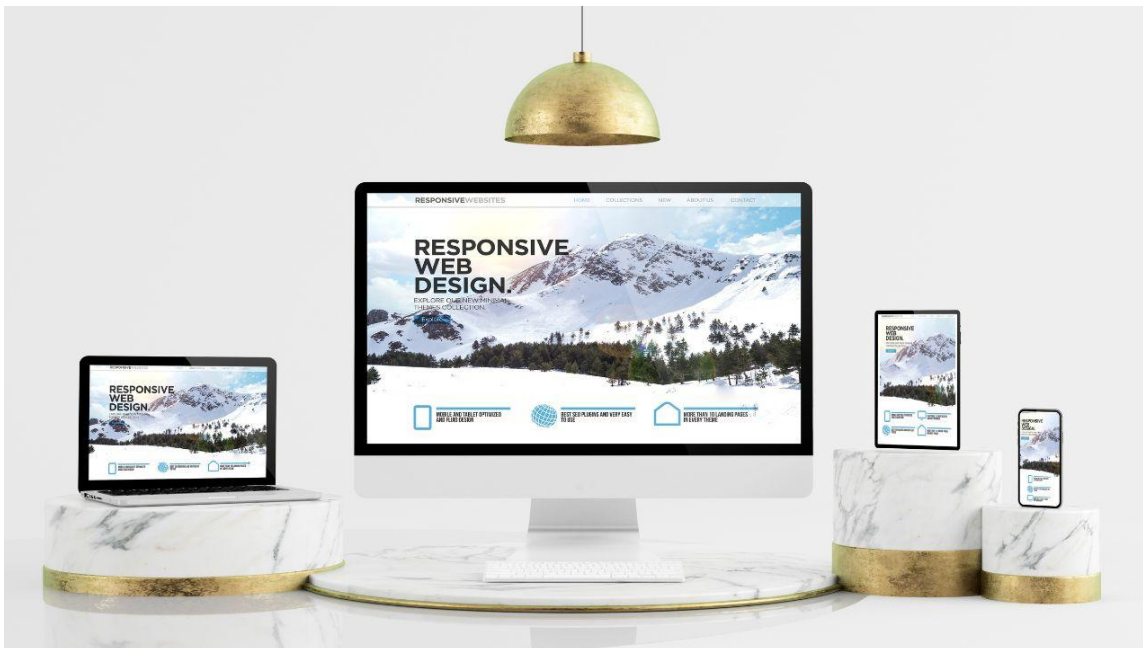


ホームページ制作の主な流れ	1
サーバー会社契約・独自ドメイン取得・ワードプレス導入について	3
Wordpress(ワードプレス)テーマとは？	7
無料ホームページ制作ツールのメリット・デメリット	9
【おすすめ】自作ホームページ制作ツールをご紹介	11

ホームページ制作の主な流れ



「ホームページってどうやってできてるの？」「パソコンのスキルがほとんどない」けど、ホームページ制作会社に依頼せずに「自分でホームページを作りたい！」とお考えの方にまずは、**どのようにしてホームページが出来上がるのか、ホームページ制作の流れをご説明**します。

※無料でホームページが作れるツールとしてWixやペライチなどがありますが、ここでは**国内シェア8割(No.1)を誇る「Wordpress(ワードプレス)」を導入する方法**をご紹介します。

のちほど、他のツールが気になる方にWixやペライチなどの無料ホームページ制作ツールの特徴もご紹介します。

◇ホームページ制作の流れ...

「サーバー契約、ドメイン取得、ワードプレスの導入」

↓

「ワードプレスの初期設定」

↓

「ワードプレスカスタマイズ」

↓

「ホームページ完成」

といった形になります。

順番に説明しますと、ホームページを制作するには、事前準備が必要になります。

それが「サーバー契約」「ドメイン取得」「ワードプレスの導入」です。

例えていうと、ホームページが「家」土地が「サーバー」、住所が「ドメイン」の役割をしています。

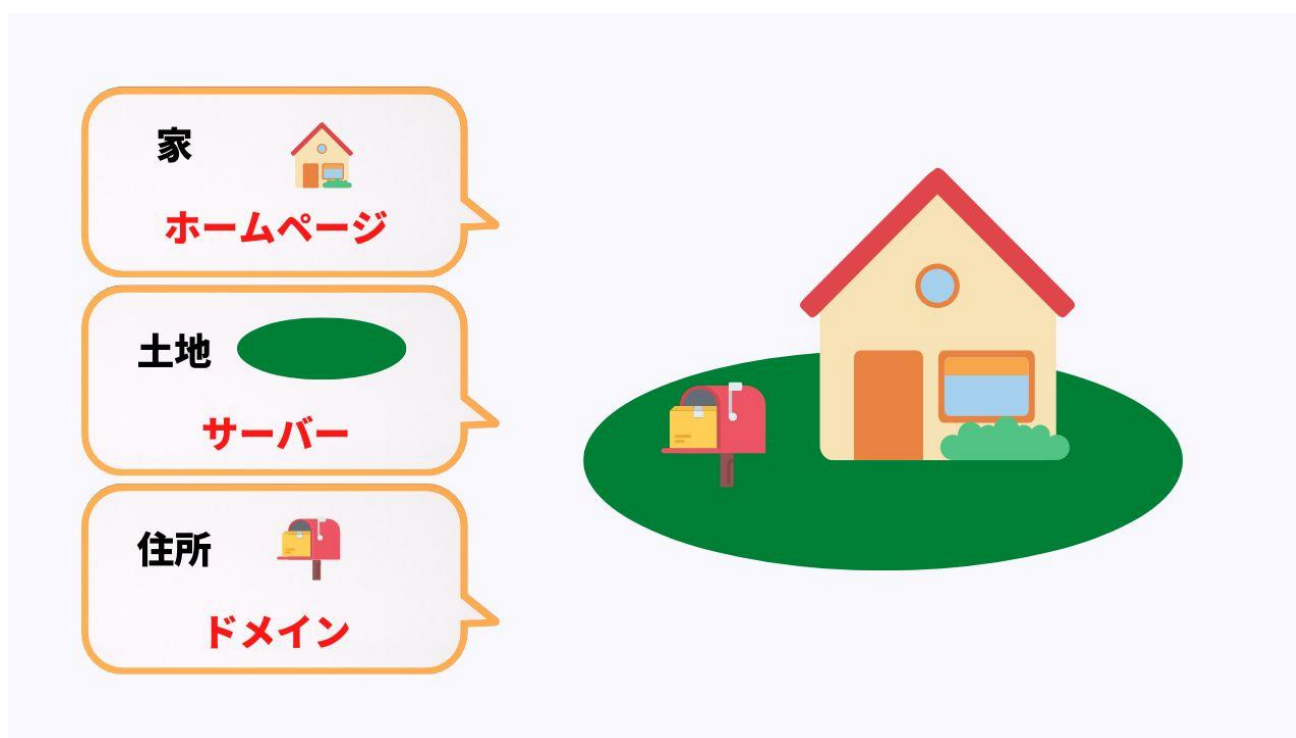
家を建てるのに土地と住所が無ければ家が建てられないように、ホームページを作るにはサーバーとドメインが無ければ、ホームページを作る事が出来ません。

まずはレンタルサーバー会社とサーバーの契約をし、ドメインを取得します。

そこからレンタルサーバーの管理ツール内にワードプレスを導入する場所があるので、ワードプレスを導入し、進めていきます。

簡単にいうと、レンタルサーバー会社と契約すれば、ドメインもワードプレス(ホームページ)も手に入れます。

家具や電化製品を揃えていくように、ワードプレス(ホームページ)も事業内容や会社情報などを加えてオリジナルのものを作成していきます。



「家を住める状態にする＝ホームページをカスタマイズする」ここがゴールになります。

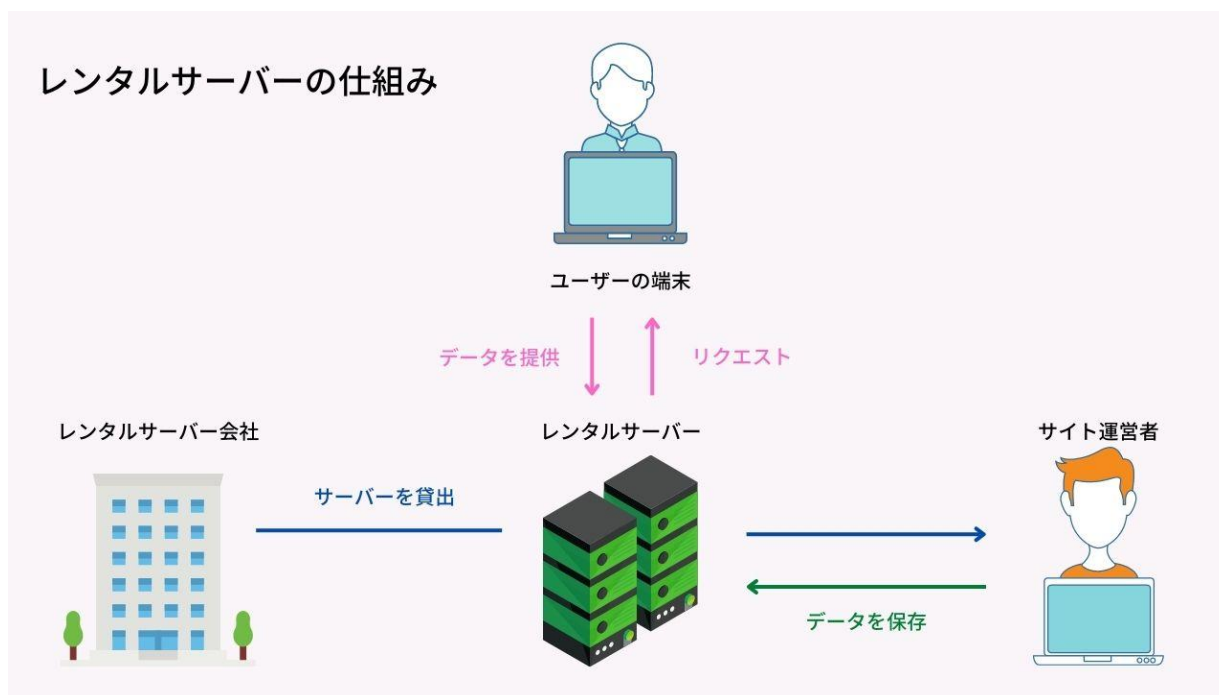
ホームページ制作の流れは掴んだと思いますので、個々の役割、方法について詳しくご説明します。

サーバー会社契約・独自ドメイン取得・ワードプレス導入について

◆レンタルサーバーとは

レンタルサーバーとはホームページなどのWebサイトを立ち上げたいユーザーに貸し出すサービスのことで、サーバーを自作する事も可能ですが、専門的な技術や時間、労力もかかるため、ほとんどのユーザーがレンタルサーバーを利用しています。

前述で言いますと、土地を買うのに法的処置やコストもかかるので、「土地を借りて家を建てる」という事ですね。どこに住むか迷うように、レンタルサーバー会社も何社もあるので、のちほどご紹介します。



◆独自ドメインとは

独自ドメインとはインターネット上の住所のようなもので、アルファベット、数字、記号などを組み合わせて作成します。

その中でも会社などが独自に登録しているドメイン名のことを独自ドメインと言います。

https://www.○○○.com

ドメイン

ここで思うことは「それでもよく分からない」「ドメインってこだわる必要があるの?」「独自ドメインって本当に必要なの?」という疑問です。

独自ドメインではないドメイン、例えば『アメブロ』や『楽天ブログ』などでブログを書くとURLが、

- [https://ameblo.jp/\[ブログID\]/rss/](https://ameblo.jp/[ブログID]/rss/)
- [https://api.plaza.rakuten.ne.jp/\[ブログID\]/rss/](https://api.plaza.rakuten.ne.jp/[ブログID]/rss/)

となります。

無料ホームページ制作で言いますと『Wix』や『ペライチ』でホームページを作成するとURLが

- [https://wixsite.com/\[id\]](https://wixsite.com/[id])
- [https://\[id\].hp.peraichi.com](https://[id].hp.peraichi.com)

となり、使用している企業名(プラットフォーム)が明記されるので、ドメインをレンタルしているという形になるので「広告が表示される」「サイトが重い」「企業にすべて指図される」といったデメリットがあります。

独自ドメインのメリット・デメリット、

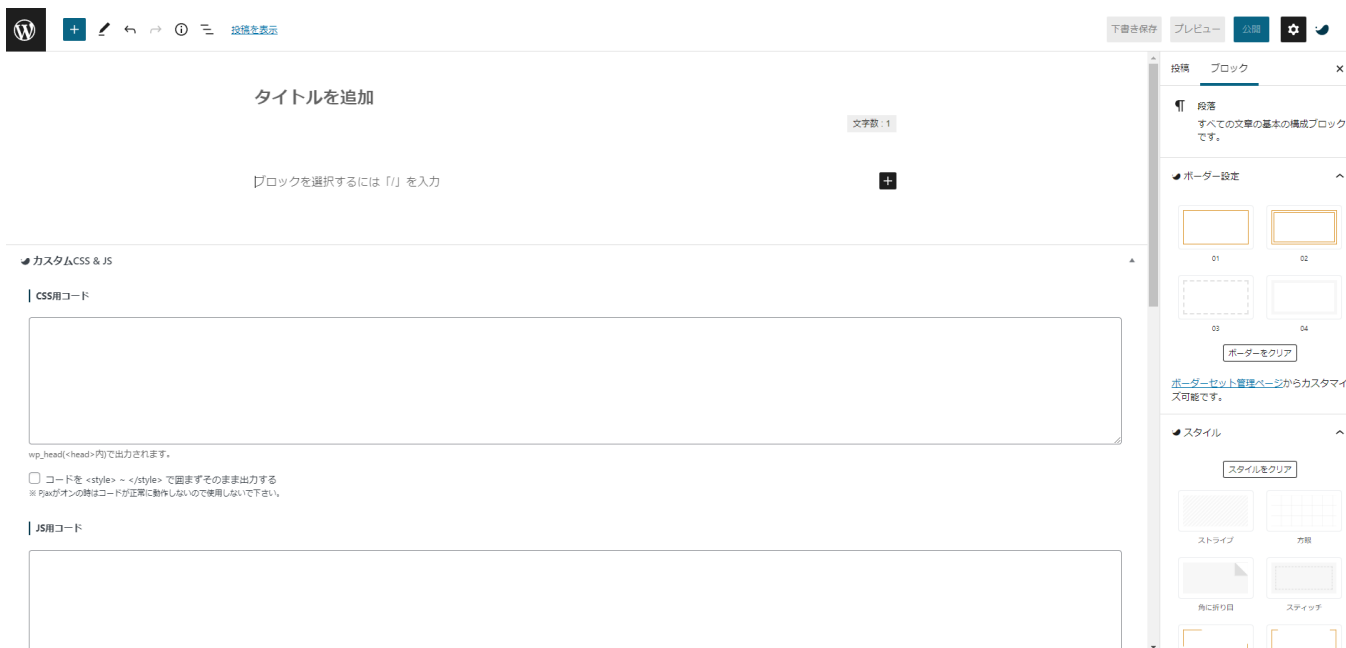
- メリット: ブランド力・信頼の向上に繋がる、URLが変わらない、ブログサービスに影響されない、広告表示はされない
- デメリット: 取得・更新に費用がかかる、更新・管理が必要

取得・更新に費用がかかりますが、**基本的には更新費用が年間1,000円~1,500円くらいですので、独自ドメインにする方が自由に利用できる点で絶対に有効的**です。

◆Wordpress(ワードプレス)とは

Wordpress(ワードプレス)とはPHPというプログラミング言語で作られているCMS(コンテンツ・マネジメント・システム)の一つでブログサイトやホームページなどのWebサイトを作ることができます。

世界中でこのワードプレスが使用されており、特に日本ではシェア率8割(No.1)を占めるほど人気のCMSです。



専門用語が多く、初心者の方には難しく感じられるかもしれませんが、要するに**プログラミングの知識が無くてもホームページを作る事ができるツール**という事です。

ワードプレスを使用する**一番のメリットはなんといっても利用者数が多い事**です。

利用者数が多い事は、何か壁に当たった時に、**ネット検索して解決方法を見つけやすい**といった利点があります。

その他にも

- 無料で導入ができる
- SEOの内部対策の専門知識が不要
- 簡単にはじめる事ができる
- サイトのデザインを変える「テーマ」や「プラグイン」が多い

などメリットがたくさんあります。

国内シェアNo.1の理由が分かりますね。

ワードプレスを導入(インストール)するには、エックスサーバーなどのレンタルサーバー会社と契約をすれば、ワードプレスの簡単インストールといって、手動でインストール作業を行う手間を省き、作業時間を短縮する便利機能があります。

◆レンタルサーバー会社を選ぶ一番のポイント



ここまでで、レンタルサーバー・独自ドメイン・ワードプレスがどういうものなのか、理解できたと思います。次は色々ある中でどのレンタルサーバー会社を選ぶのかポイントを紹介していきます。

レンタルサーバー会社を選ぶポイントとして「費用で選ぶ」「サイト表示速度」「ディスク容量」「ワードプレス簡単インストールの可否」「サポートの充実」などがありますが、一番のポイントは『実績』です。

実績＝優良です。

実績が豊富かどうかを見極めるポイントは運営期間が長く、口コミでサポートに関する評判が良い会社です。

◆レンタルサーバー会社のメリット・デメリット

A collage of promotional banners for ConoHa WING and Sakura Platform. The top left banner for Sakura Platform features the text '国内シェア No.1' and 'サーバー速度 No.1' with a sub-headline 'いつも超速、ずっと安定。' and a price of '月額実質 495円~ (税込)'. The top right banner for ConoHa WING says '新登場!契約特典もらえる' and 'ブログを作成・運用するならロリポップ' with a price of '月額493円~'. The bottom right banner for ConoHa WING features '国内最速' and '最安級' with a price of '月額493円~' and '超安定' with '稼働率99.99%以上'. The bottom left banner for Sakura Platform says '技術・ビジネス・人・物をひとつに結びつける 最新のツール' and 'さくらのモノプラットフォーム'.

・ConoHa WING <https://www.conoha.jp/wing/>

GMOが提供するレンタルサーバーでブロガーなどが使用する人気のレンタルサーバーです。

メリット:

- ・サイト表示速度が速い
- ・ワードプレスを簡単に導入できる
- ・独自ドメインを無料で2つ取得できる
- ・スマホアプリでサーバー管理ができる
- ・ワードプレスの簡単インストールが便利

デメリット:

- ・実績が浅い(運営開始2018年9月)
- ・SSL関係でエラーが起きる
- ・基本料金が他社より高い
- ・WINGパックは途中解約できない

・エックスサーバー <https://www.xserver.ne.jp/>

高性能なサーバーをお手頃価格で利用できるサーバーで、国内シェアNo.1、サーバー速度No.1の人気サーバー

メリット:

- ・サーバーが安定している
- ・国内シェアNo.1、サーバー速度No.1
- ・利用者数が多いので、ネットで調べると解決できる
- ・ワードプレスの簡単インストールが便利

デメリット:

- ・プラン変更が月単位でしかできない
- ・サーバー設定の反映が遅い

・さくらのレンタルサーバー <https://www.sakura.ad.jp/>

さくらインターネット株式会社が運営するレンタルサーバーサービスで利用者数が年々増加傾向にあるレンタルサーバーです。

メリット:

- ・月額費用が安い
- ・ワードプレスの簡単インストールが便利

デメリット:

- ・分かりづらい
- ・途中でプランを変更できない
- ・スピード、高性能を求めるなら不向き

・ロリポップ！レンタルサーバー <https://lolipop.jp/>

会社の簡単なホームページ制作におすすめなサーバー

メリット:

- ・月額料金が安い
- ・サポート満足度が94%

デメリット:

- ・サーバー速度が他社に劣る
- ・バックアップ機能が有料

Wordpress(ワードプレス)テーマとは？



レンタルサーバー契約・独自ドメイン取得・ワードプレス導入の3つの事前準備が終わると、いよいよホームページを作成するための、初期設定を行います。

その際に必要になってくるのが「ワードプレステーマの選定」になります。

ワードプレステーマとは、ワードプレスで制作された**Web**サイト全体のデザインや構成を設定するためのテンプレートの事です。

ワードプレステーマを導入する理由は、初心者でも本格的な**Web**サイトやブログを簡単に作成できるからです。

現在は公式のものだけでも約**8,000**種類以上あり、選びきれないほどのワードプレステーマが存在します。

ワードプレステーマは「**無料**」と「**有料**」があり、コスト面を考えると最初は無料のテーマでもいいと思いがちですが、無料のテーマはデザイン性が乏しく、SEOやカスタマイズ性も低い事から、**有料のテーマを選んだ方が後々の支障がなく、Webサイトを運用**できます。

また、**有料テーマには「買い切り型」と「サブスク型」**があり、サブスク型のテーマは安く感じますが使い続ける限り費用が発生するので、**ホームページ制作を考えているユーザーは絶対に手を出しては行けない商品**になります。

といった事から今回は「買い切り型」の有料テーマを紹介します。

◆有料のワードプレステーマ



・**SWELL**(スウェル) <https://swell-theme.com/>

価格: 17,600円(税込)

SWELLはシンプル美と機能性を両立させた最高峰の国産ワードプレステーマで、使用しているユーザーが多い事から、困った時に会員制のフォーラムにて質問できます。

またカスタマイズ性があることからホームページ制作に適したテーマになっています。

・**TCD**(ティーシーディー) <https://tcd-theme.com/>

価格: 7,980円~39,800円

TCDは国内シェアトップクラスのワードプレステーマトップブランドで選りすぐられた80種類の中から選ぶ事ができます。

・**AFFINGER6**(アフィンガー6) <https://affinger.com/>

価格: 14,800円(税込)

アフィリエイトサイトやホームページなどで利用されているテーマで、デザインプレートは48種類の中から好きなデザインを選ぶ事ができます。

・**THE THOR**(ザトール) <https://fit-theme.com/the-thor/>

価格: 「テーマ&サポートプラン」16,280円(税込)「らくらくサーバーセットプラン」30,140円(税込)

初心者でも簡単にプロ並みのWebサイトを作成する事ができます。デザインはプロのデザイナーが担当しているのでオシャレで美しく洗練されています。

・STORK(ストーク)<https://open-cage.com/stork19/>

価格:11,000円(税込)

ブロガー向けに開発された有料テーマで複雑な設定がいらぬシンプルな機能性。カスタマイズせずともそのまま使える高クオリティなデザインが豊富に用意されています。

・賢威(けんい)<https://rider-store.jp/keni>

価格:27,280円(税込)

Webマーケティング会社が開発した有料テーマで、SEOに強くアフィリエイトサイトから企業のホームページまで様々な用途で使用されています。SEOのノウハウが詰まっている事やSEO戦略、コンテンツ制作などのマニュアルが豊富であることが挙げられます。

無料ホームページ制作ツールのメリット・デメリット

忙しいあなたでも、カンタンに、しかもイメージしているものをすぐに表現できるのはジンドウだけ
~私たちは最強の事業主を応援します~

無料ホームページ作成ツール ジンドウ

とにかくカンタン
いつでも変更可能
プロのようなデザイン

世界中で2000以上のサイトがジンドウで作成されています

無料で試してみる

ウクライナの人々をサポートし、とちに変化を起こしましょう。サポートする→

どんな「作りたい」も叶える 本格ホームページ作成ツール

ホームページの作成、管理、集客をひとつの場所で、Wix は世界中の人々やビジネスに選ばれているクラウドベースの Web 制作プラットフォームです。

無料で始める

40万人突破

集客機能がオールインワン!

テンプレートを選ぶだけ 起業・副業のホームページ

低価格
ビジネスプラン
¥3,940/月~
※1年契約の場合

オンライン決済
手数料は売上の
3.5%~
※業界最低水準

予約システム
予約受付や管理が
誰でもカンタン

サーバー契約・ドメイン取得・ワードプレス導入・ワードプレス有料テーマとご説明してきましたが、ワードプレスの他に無料でホームページを制作できるツールがあります。

自作でホームページを制作しようとネット検索した人は、「Wix」や「ペライチ」という名前を目にしたことがあると思います。

こちらのツールでもホームページを制作する事ができます。

前途でもご説明しましたようにワードプレスは国内シェア8割(No.1)を誇り、残りの2割をWixやペライチ・Jimdoなどが占めています。

◆Wix(ウィックス) <https://ja.wix.com/>

Wixとは2006年にイスラエルで設立された企業によるクラウド型CMSサービスです。

メリット:

- ・HTML・CSSの専門知識がなくてもはじめられる
- ・無料で気軽にはじめられる
- ・豊富な量のテンプレートから選べる

デメリット:

- ・テンプレートを一度選ぶと変更できない
- ・情報量が少ないので完成までに時間がかかる
- ・ビジネス版を使うなら有料版にする必要がある
- ・無料版だと広告が表示される
- ・バックアップ機能がついていない

◆ペライチ <https://peraichi.com/>

ペライチは1ページものの長いページ(ランディングページや1ページ完結型のホームページ)におすすめのホームページ作成サービスです。

マウスのドラッグ&ドロップ操作でホームページを作ることができるので、シンプルで初心者優しい仕様になっています。

メリット:

- ・簡単なWebサイトを作るのに最適
- ・縦に長いサイトを作りたい人に最適
- ・390種類以上の豊富なテンプレート
- ・予約機能やオンライン決済機能も利用できる

デメリット:

- ・ページ数が増えると月額費用が高くなる
- ・カスタマイズ性がない
- ・無料は1サイトのみ

◆Jimdo(ジンドウー) <https://www.jimdo.com/jp/>

Jimdoは2007年にドイツで誕生したオンラインホームページ作成サービスで、日本ではKDDIウェブコミュニケーションズが協業パートナーです。

メリット:

- ・HTML・CSSの専門知識がなくてもはじめられる
- ・スマホで編集ができる
- ・スマホ・タブレットのレスポンシブレイアウト
- ・オンラインショップが作成できる

デメリット:

- ・問題が発生した時に、使用しているユーザーが少ないので検索で解決するのが難しい
- ・ビジネス版を使うには有料版にする必要がある
- ・無料版の場合180日以上ログインしていないとホームページが自動で削除される
- ・バックアップ機能がついていない
- ・カスタマイズ性がない

【おすすめ】自作ホームページ制作ツールをご紹介



ここまでホームページ制作に関するツールの説明をしてきました。多種多様なレンタルサーバーがあり、Wordpressテーマがあり、無料ホームページ制作ツールがあり、考えるだけでどこを利用していいのかわからなくなります。

私自身も実際「あれでもない、これでもない」と試行錯誤し、ツールを変更してきました。

その中で、これが良い！と言えるおすすめツールをご紹介します。

◆おすすめレンタルサーバー会社

- ・エックスサーバー

基本的には一番人気のツールが一番おすすめです。レンタルサーバーの一番重要なポイントはサイトの表示速度です。この点が優れているので、国内シェアNo.1・速度No.1を取れるのでしょう。

あとは、他のサーバーを使用してきた、管理画面など一番分かりやすいし、設定もしやすいです。

何か不明な点があった時に、お問い合わせフォームではなくネット検索をするだけで解決方法が出てくるほど人気のレンタルサーバーなので、そういった点も高評価のひとつです。

◆おすすめ無料ホームページ制作ツール

・Wordpress(ワードプレス)

国内シェア8割を誇るWordpress1択です。ペライチに関してはランディングページを1ページ完結で作るといっているのであればおススメですが、ホームページ制作向きではありません。

WixやJimdoはやはりまだまだ性能と人気がないですし、無料でできる事が限られている点でWordpressには及びません。

◆おすすめワードプレステーマ

・SWELL(スウェル)

無料・有料のワードプレステーマがある中で、私が一番おすすめと思う有料テーマが「SWELL」です。

カスタマイズ性・デザイン性も含めてすごくいいのですが、何より私が推すのが別サイトにも使用できる事です。

買い切り型の中で複数のサイトでも利用できるのが特徴の一つです。例えば複数のホームページを作る場合に、他の有料テーマではもう一度テーマを購入しないといけない中、このSWELLに関しては一回の購入で何回も利用する事ができます。

他の有料テーマは「複数サイト不可」や「複数サイトに使用する場合は+〇〇円」といった感じで不可やプラスで追加料金が発生しますが、SWELLは問題ありません。

現段階では「他のサイトなんて作る予定がないよ!」と思いますが、これから自作のホームページ制作をやっていかれる人は、2社・3社とホームページ制作をした場合、SWELL購入金額が半額・3分の1とお得になります。

私自身はSWELLを購入してから、自社ホームページ制作を4つとブログサイト2つに使用したのでSWELLの有料テーマを約3,000円で購入したことになりますので、非常にコスパが良い有料テーマです。

◆まとめ

【無料】自作ホームページ制作のための入門ガイドはいかがでしたでしょうか。

自作でホームページを作るために必要な流れを掴んで頂けたと思います。

ホームページを自作するとなると、いっぱいある業者の中から何を選んだら良いのか分かりませんが、こうやって見ると意外と簡単と言いますか、結局は一番人気が一番の安定という事がお分かりになったと思います。

流れをおさらいすると・・・

「エックスサーバー」でレンタルサーバーを契約し、独自ドメインを取得後に、簡単インストールで「ワードプレス」を導入します

その後、有料テーマで「SWELL」を購入しホームページ制作を進めていくといった流れです。

これからホームページ制作を進めていく中で、私もお協力(サポート)できるように、

【初心者でも作れる 自作ホームページ・デジタルキット】

をご用意しております。

本商品は初心者でも順番に進めていくだけで、ホームページが作れるというデジタルキットとなっています。

ご興味がある方はぜひ一度ご覧下さい。

ここまでご購入いただいたメルマガ読者様限定で

『自作ホームページ・デジタルキット』

今だけ特別価格

定価165,000円(税込)⇒ **99,000円(税込)**

66,000円割引(40%OFF)

[詳細はこちらをクリック](#)

必ず納得して頂けるデジタルコンテンツとなっています。